

待てない理由は人それぞれ 理由に合わせて工夫してみよう

藍野大学講師 高畑脩平



今回のでこりん!のテーマは「順番」です。

お子さんが順番を待てない要因には、どんなことがあるでしょうか?主に、2つに分けることができます。

- ① 列が分からない、待つべき場所が分からないなど、「分からない」が要因となっている
- ② 順番は分かっているけど、待つことが退屈すぎて順番抜かしをしてしまうなど、「退屈」が要因となっている

番組内では、順番を待つことが苦手なでこりんが、環境や方法を工夫することで順番を待てるようになりました。どんな工夫があったのかを、一つずつ確認していきたいと思います。

1つ目は、「待つべき場所の視覚化」です。列や順番は、実態がなく曖昧な情報です。列が曲がっていたりすると、待つべき場所はさらに曖昧になります。番組内では、発明品により、待つべき場所が黄色の線で提示されると、「順番」が分かりにくいでこりんも少し理解しやすくなった様子です。これは、私たちの生活場面でも、電車のホームやコンビニなど順番を並ぶ場面で活用されていることに気づきます。

2つ目は、「気づきを促す感覚」です。でこりんは、黄色い線があるだけでは、前の子どもを追い越してしまいそうなシーンがありました。楽しそうなトランポリンに意識が向きすぎて、足元の黄色い線は忘れ去られてしまったわけです。そんな時に、発明品により、黄色い線が地面から盛り上がってきました。これにより踏んだ感覚をプラスで感じることができ、でこりんも足元の線に改めて意識が向いた様子です。このように、視覚化だけでは気づきにくい場合は、他の感覚情報をプラスする工夫が有効な場合があります。視覚だけであっても、背景となる床の色とのコントラストで線を目立たせる工夫など、いかに線に気づきやすくするかを検討できると良さそうです。

3つ目は、「退屈せずに待つ工夫」です。でこりんも「順番」は理解したものの、「退屈」という別の要因で順番抜かしをしてしまいそうになっていました。そんな時に「とびかたに名前をつける」という工夫があり、それだけで、でこりんはワクワクしながら待つことができたようです。頭と身体が忙しいタイプのお子さんは、常に何かをしたいものです。待つだけでなく、その場でできる、頭や身体を使う工夫を検討してみると良さそうです。